

運用・デモ事前チェックリスト

MiRZAのご運用を円滑に進めるための事前準備用チェックリストです
有意義な運用のため、有効活用して頂ければ幸いです



運用・デモ前日までに確認する事項

✓	No	確認項目	詳細説明
	1	MiRZAに対応したスマートフォンを用意していますか？（2025年12月現在の対応機種：AQUOS R9、R9 pro、R10） 対応機種に関する最新情報は こちら からご確認ください	—
	2	スマートフォン設定の「仮想メモリ」はデフォルトの「6GB」から「OFF」に変更されていますか？ ※デモで1アプリを使う場合は通常メモリと仮想メモリで分断されるため「OFF」の方が安定します。 複数アプリでは「ON」がよいです（R9での操作例：設定⇒システム⇒仮想メモリから変更可能）	—
	3	MiRZAに欠損や異音など、異常はないですか？	—
	4	MiRZAとスマートフォンのソフトウェアは最新バージョンに更新されていますか？ ※最新のSWバージョンは こちら を参照ください	—
	5	MiRZAとスマートフォン共に満充電されていますか？ （デモモード時を除き、MiRZAの充電中はLEDが赤色に点灯し、充電が完了するとLEDは緑色に点灯します）	—
	6	電源OFFにした後、LEDは白色に点灯していませんか？（MiRZAの電源がONのままだと、LEDが白く点滅します）	—
	7	MiRZA度付きインサートレンズ（レンズキット）、シェード、クリーニンググッズ（ウェットシート等）の準備はされていますか？	—
	8	充電用のUSBケーブル（出力定格：5V/1.5A、7.5W以上）やACアダプタは用意されましたか？ （広い会場での運用・デモにおいては、延長ケーブルがあると便利です）	—
	9	長時間利用が見込まれる場合、適切な充電器や分配ケーブルを準備していますか？ 1つの充電器でMiRZAとスマートフォンを同時充電する場合、出力定格が5V/3A（15W）以上の充電器から分配ケーブルを使用して接続してください ※給電不足とならないよう、必ず実際の環境で動作時間の確認を行ってください	—
	10	通信が必要なデモやサービスの場合、SIMやWiFiルーターなど通信環境の準備はできていますか？ ※より快適にご利用いただく場合は、スマホのWi-Fi設定はOFFにして、SIM通信（モバイルデータ通信）で利用することを推奨します	—
	11	MiRZA体験者の人数は確認しましたか？ （体験者1名なら余裕を見て、2～3台程度MiRZAを用意されると安心して運用・デモが可能です） 複数台運用される場合は、あらかじめ こちらのガイドライン をご確認頂き、適切に運用を行ってください ポイント ①直径10mの範囲内で同時に利用する最大セット数（目安）を9セット以内に留める ※通信料の少ないアプリでは、最大18セットまで使用可能です ②3セット以上を同時に接続する場合は、全てのセットを直径10mの範囲内に集めてから順番に接続を実施する （10mの範囲外で接続したセットを持ち込まない） ③同時に利用するセットが目安の最大セット数を超過する場合は、最大セット数となるように個別グループに分けて利用する （各グループ間は10m以上離れる）	有
	12	運用・デモ中の取違い防止のために、MiRZAとスマートフォンの接続の組み合わせが分かるシールやマーキングがされていますか？※MiRZAとスマートフォンは1対1接続	—
	13	MiRZAアプリで、MiRZAとスマートフォンの初回接続は完了していますか？（操作方法は YouTube に動画があります）	—
	14	MiRZAアプリの設定で、「ガラスの電源設定」は「ガラスを外してから30分後にOFF」に変更されていますか？ もしくはデモモードのご活用をご確認ください	—
	15	MiRZAアプリの設定で、「充電中は常時電源ON」は「充電中はガラス電源をOFFにしない」に変更されていますか？ もしくはデモモードのご活用をご確認ください	—
	16	デモ・運用されるコンテンツにてSLAM機能をご利用頂く場合、予め利用範囲や周辺環境が こちらのページ で紹介している利用可能範囲・推奨環境に従っているかご確認ください 安定した運用のために、推奨環境下にて、MiRZAを起動した位置を基準に直径10m以内の空間でのご利用をお願いします これらの条件から外れてご利用された場合、MiRZAの6DoF精度や自己位置推定精度に大きな誤差が発生する可能性があります	有
	17	QRコード認識を使用する場合は、実装時に設定したサイズと同じサイズを印刷して使用していますか？	—
	18	起動時に指定したSpacesアプリを直接起動したい（アプリの起動サポート機能を有効化したい）場合、下記手順に沿って設定してください ①MiRZAアプリの「ガラス関連設定」から「アプリの起動サポート」を開く ②起動サポートをしたいアプリのトグルボタンをONにする ③ガラス接続後に通知欄へアプリ起動の通知が出るので、起動したいアプリの通知部分をタップする 終了したい場合は通常の終了手順と同様になります 参考：Web取扱説明書 アプリ起動サポート	有

関連リンク

MIRZA対応機種	最新SWバージョン	複数台接続	チュートリアル	SLAM利用条件	アプリ起動サポート

詳細説明

複数台運用される場合は、あらかじめこちらのガイドラインをご確認頂き、適切に運用を行ってください

①直径10mの範囲内で同時に利用する最大セット数(目安)は9セット以内

②10mの範囲外で接続したセットを持ち込まない

③グループ間は10m以上離れる

デモ・運用されるコンテンツにてSLAM機能をご利用頂く場合、～

・10m範囲の図説

起動位置を中心として直径10m以内でご利用ください

10mを超えた場合は自己位置推定に大きな誤差が発生する可能性があります

起動時に指定したSpacesアプリを直接起動したい(アプリの起動サポート機能を有効化したい)場合～

MIRZAアプリから「ガラス関連設定」を開く

「アプリの起動サポート」を開く

起動サポートをしたいアプリをONにする

設定を有効にした後にデバイスと接続すると通知欄に対象アプリの起動用通知が届きますので、タップすると直接起動することができます

運用・デモ当日に確認する事項

☑	No	確認項目	詳細説明
	1	MIRZAとスマートフォンの距離は1m以内で運用されていますか？ (複数台でもスマホとガラスの距離が離れ過ぎなければ、運用可能です)	—
	2	スマートフォンの電源をONにして起動したことを確認してから、MIRZAの電源をONにしてください Bluetooth接続がうまくできない可能性があります もしMIRZAを先に電源ONにしたためにBluetooth接続がうまくできない場合、下の対処法をお試しください ①手動でスマートフォンのBluetooth設定から、該当のMIRZAを選択する ②スマートフォンのBluetooth設定を一度OFFにした後、再度ONにする	
	3	連携するスマートフォンは、MIRZA装着者に持ち歩いてもらうか、ポケット/ポーチに入れて頂くように促してください 机に置きたい場合は卓上ホルダーなどで立てて置いてください	—
	4	スマートフォンを持ち歩く場合、上部のアンテナ部分を手で覆わないように促してください	—
	5	円滑にデモ等を進めるために、周辺に壁や柱のない見通しの良い場所で利用してください また、周囲に他のWi-Fi 6GHz帯アクセスポイントがない環境での利用を推奨します	—
	6	公衆無線LAN(公衆Wi-Fi)には接続しないでご利用ください 公衆無線LANに接続している場合、MIRZAの動作に影響する可能性があります	
	7	複数台運用の場合は下記ポイントに注意して運用してください(「前日までに確認する事項 No.11」と同内容) ①直径10mの範囲内で同時に利用する最大セット数(目安)を9セット以内に留める ※通信料の少ないアプリでは、最大18セットまで使用可能です ②3セット以上を同時に接続する場合は、全てのセットを直径10mの範囲内に集めてから順番に接続を実施する ③同時に利用するセットが目安の最大セット数を超過する場合は、最大セット数となるように個別グループに分けて利用する (グループ間は10m以上離れる)	—
	8	MIRZAアプリでスマートフォンとMIRZAの接続を開始する際は「メインメニュー」の表示が出るまで30秒ほど頭を動かさずに静止しててください(空間認識のための待機時間)	—
	9	必要に応じてデモモードをご活用ください(常時画面点灯状態になります) 切替方法：ガラス本体の設定メニューで認証情報を表示した状態で、+ボタンと-ボタンを同時に5秒押下する デモモードについての詳細情報は こちら	有
	10	デモモード利用時は、デモ・運用開始前に正しくデモモードに切り替わっているか確認してください 確認方法：設定メニューの左下に「デモモード」という表示がある/LEDが紫色に点灯または点滅している	有
	11	空間認識利用のデモアプリ起動時、アプリが完全に立ち上がるまで、頭を動かさずに静止しててください	—
	12	体験者にMIRZAを渡す際、テンブルの細い部分を持つように案内されていますか？ (下図参照、電源ボタン誤操作による表示消え防止)	有
	13	体験者の方がコンテンツを見やすいような装着状態になっておりますでしょうか？	有
	14	体験者にMIRZAをかけていただく際、MIRZAの向きを変えずに(逆さまにせず)に渡してください(ドリフト防止)	—
	15	MIRZAを机に置く際、最初に起動した向きと逆向きでは置かないようにしてください(ドリフト防止)	—
	16	デモアプリを切り替える際はUI上の×ボタンなどにより、毎回デモアプリのタスクキルを行った上で、切り替えてください	—
	17	ハンドジェスチャーは以下詳細説明の通りにご案内をお願いします	有
	18	デモ中にスマートフォン画面の誤タップを防止するために、必要に応じて下記詳細説明の通りに各スマートフォンで設定し、 アプリ動作中のタップ無効や通知や着信をブロックする設定を行ってください (ポケットにスマートフォンをいれ、MIRZAのみで体験・操作させるアプリなど)	有
	19	デモ中にアプリが切り替わらないように、必要に応じてスマートフォンの画面固定を行ってください (ステータスバーの下スワイプでも無効にできます)	有
	20	デモモードに切り替えた場合は、再起動してもデモモードが継続します 不要な場合は電源オフの前か、次回ご使用になる前にデモモードをオフにしてください 切替方法：ガラス本体の設定メニューで認証情報を表示した状態で、+ボタンと-ボタンを同時に5秒押下する	有

関連リンク



詳細説明

7：必要に応じてデモモードに切り替えてください
 18：デモモードに切り替えていた場合は、電源オフにする前にデモモードをオフにしてください

7
18



デモモードの切替方法(オン⇔オフで同様の手順)
 グラス本体の設定メニューで認証画面(右図)を表示した状態で、+ボタンと-ボタンを同時に5秒押下する

デモ等を開始する前に、正しくデモモードに切り替わっているか確認してください

8



デモモードの確認方法
 設定メニューの左下に「デモモード」という表示がある(赤枠部分)

体験者にMirZAを渡す際、テンプルの細い部分を持つように案内されてますか？(下図参照、電源ボタン誤操作による表示消え防止)

10



体験者の方がコンテンツを見やすいような装着状態になっておりますでしょうか？

11



ハンドジェスチャー(は以下詳細説明の絵の通りにご案内をお願いします)

15

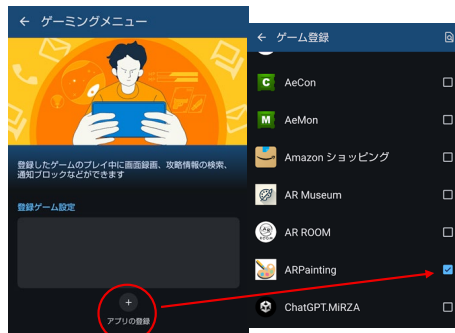
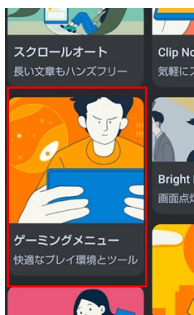
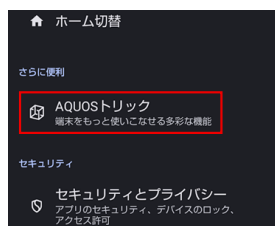
- ・ハンドジェスチャーを識別するカメラは、MirZA本体の左右のカメラを利用します。
- ・ジェスチャーを検知する為には、MirZAのカメラで手(特に指)を検出させる必要があります。

推奨の使い方(ポイント)	ジェスチャー	良い例	悪い例
① ジェスチャーの操作時は、自分の目から見て、5本の指が見えるようにご使用してください。 【良い方法】 ・5本の指(Grab時は親指を除く4本の指)の第2関節まで見せる 【悪い方法】 ・腕を伸ばして使用する ・指を裏に倒す(腕や手の甲で指を隠す) ・手首を奥方向に傾ける	Pinch		
	Grab		
	Open-Hand		
② 素早い手の動き(左右/回転など)は、極力しないようにご使用してください。 ※全力で手を振るなどの操作	上記全て		

デモ中にスマートフォン画面の誤タップを防止するために、～

16

設定画面(R9)



操作手順

①設定画面

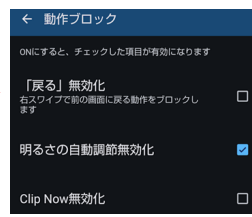
⇒「AQUOSTリック」をタップ

②「ゲーミングメニュー」をタップ

③「アプリ登録」から登録したいアプリの
チェックボックスをマーク



④アプリアイコンをタップし、各種設定を行う



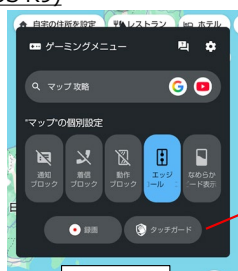
動作ブロックをタップすると
戻る操作を無効化可能

参考：ゲーミングモード時(AQUOS R9)



タップ

画面内に上記アイコンが
表示されます



設定が可能

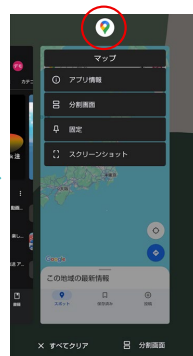
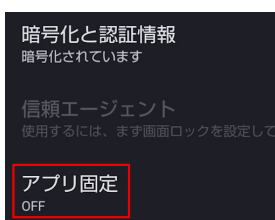


タッチガードを有効にすると、
有効中は画面に触れても反応しなくなります

デモ中にアプリが切り替わらないように、必要に応じて画面固定を行ってください(ステータスバーの下スワイプでも無効にできます)

17

設定画面



解除方法



解除方法は端末指定のやり方を実施
※画像はR9のもの

操作手順

①設定画面

⇒「セキュリティとプライバシー」をタップ

②「アプリ固定」をタップ、ONにする

③アプリ一覧状態にし、
アプリアイコンをタップ
⇒「固定」をタップ